インド神様関係図

MALAIKA
world handicrafts

インドには無限と神様がいてそれぞれが分身を生んだり、
別の神に化身したり、あるいは違う神と同一視されたりします。
さらに親子関係・夫婦関係・主従関係などは、神話により違うため複雑に語られます。
これは、ヒンドゥー独特の多神教に根ざしたもので新しい神々を生み出していく生きた信仰でもあります。
ここでは、神様の特徴や関係を簡単にまとめてみました。

ブラフマー

宇宙の創造を司り、昔は最高神として
究極の地位にいましたが、今は信仰が衰え
肩身の狭い神様。
老人の姿で描かれることも。

親娘
夫婦

サラスヴァティーの美しさに見とれ、いつまでもその顔を見ることができるように4つの顔を持つようになったと言われる。

サラスヴァティー

学問、文芸、音楽など 64 の技芸を
司る。仏教の弁財天。

パールヴァティー

図はシヴァファミリー。
右側が、シヴァの最もあつい愛を
受ける美と愛の女神。
インドでは理想の美人とされている。

夫婦

母のパールヴァティーが自分の召使いとして、体の垢を香油で練り上げて作った人形に命を吹き込んだとされる。

ガネーシャ

富の神、学問の神。
また障害を除く幸運の神として、大人気の神様。
乗り物はネズミ。シヴァとパールヴァティーの
子供とされています。

子供

ドゥルガー

戦うために生まれた殺戮の処女神。
好戦的で破壊を好みます。
インド全土で大人気。乗り物はトラ。

分身

夫婦

親密

シヴァ

破壊、殺戮、恐怖を司ると同時に
恩恵を施すという２つの面を持ちます。
苦行者のシンボルとして敬われると同時に
現世で作用するシャクティ（性力）を使い
彼の神妃たちによって発揮されます。
乗り物は聖牛ナンディン。

カーリー

ドゥルガーをパワーアップさせた恐怖の女神。
肌は黒く、腕は４本が基本。
生血をのむことが好きで長い舌をベロリと
出しています。夫であるシヴァの身体の上で
踊り狂う姿であらわされます。

シヴァ
そのもの

リンガ

シヴァそのものとされる
リンガ（男根）。
子孫繁栄、または豊作への願いとして
崇拝されます。

夫婦

ガンガー

夫はシヴァともいわれます。
シヴァの頭の中や、頭の上に
描かれることが多いです。
ガンジス河の化身。

ラクシュミ

富と幸運を司る神。
ヴィシュヌが化身になった時
常に傍らにいる女神。

夫婦

ヴィシュヌの化身によって自らも姿や名前を変え、その際には手に持つものが子供や武器など様々に変化する。

図の姿を基本とし
変化身の数は 10 とも
22 とも言われる。
その姿は、魚や亀など
様々である。

ヴィシュヌ

正義と法を司り、全宇宙を維持・繁栄させる
最高神。場面に応じて化身して人々に慈悲と
恩恵をもたらします。乗り物は聖鳥ガルーダ。

化身

同一視される
地方神

ジャガンナータ

クリシュナと同一視される
ようになったベンガル地方の土着神。
滑稽な形は他に類を見ません。
インドでは人気のある神様ですが、
日本ではいまひとつ。

クリシュナ

ヴィシュヌの八番目の化身とされ
インド国民に最も愛される神。
女性を惹きつけずにはおかない
美貌の神。

クリシュナとは「黒」を意味する。
真夜中に真っ黒な肌で生まれたことに由来。

１万６千人
の妻

１８万人の子供

ラーマ

ヒンドゥーの理想を描く
「ラーマヤナ」の勇者。
ヴィシュヌの化身として
名声を高めました。

忠誠

一説によると、西遊記の「孫悟空」のモデルとも言われている。

ハヌマーン

叙情詩ラーマヤナの中で活躍する
サルの戦士。怪力の持ち主で、空を
飛び魔人と戦います。

映画生まれの
神様！？

サントーシー

1975 年頃、”サントーシ女神万歳！”という映画から生まれた
あらゆる幸運をもたらす女神です。彼女を祀る寺院で
毎週金曜日、夜明けから日暮れまで断食をします。
16 週間続けると、どんな願い事でもかなってしまう！
映画の流行でサントーシを祀る寺院がたくさん現れました。